

Application for Partipation

Associated Schools Project(ASP) for Promotion International Education

地域とともに豊かな心を育む学校づくり
～ 地域の自然や人とのかかわりを通して ～

1 Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまで校地と隣接する「内張川」や地域の人々と関わりながら教育活動を展開してきた。「内張川」の関わりでは、低学年で、ザリガニやメダカとりを、中学年では水質検査を手掛かりに環境保全学習を、高学年では2, 3年に1度の割合で氾濫の危機にある内張川をきっかけに防災学習に取り組んできた。また、地域の老人会やおやじの会、校区にある保育園と連携した行事も数々行っている。そこで、さらに地域とともに地域から学ぶ持続可能な社会づくりの担い手を育む(ESD)を推進しようと考えた。

平成24年には、環境教育、人権教育等の観点から総合的な学習や生活科を中心に、カリキュラムや各教科等の関連について検討をしてきた。また、平成25年には、各学年の地域教材の価値とねらいを再確認するとともに、さらに地域との関連性や地域の特色を自覚できるように単元を構想した。

特に本校区は低地であり、豪雨による川の氾濫、巨大地震による津波等の被害を想定しており、子どもにたちにとって慣れ親しんでいる「内張川」の環境を大事にしていくとともに「内張川」を別の側面(氾濫)から視点を当てることによって、防災への意識を持つ子どもたちを育てていきたい。さらに子どもの目から見た防災活動が保護者、校区との連携を目指した活動へと広げていきたい。また、校区にある子ども発達センターや老人会の方をはじめとする地域の方々との交流を通して、人々の温かさ、地域のよさを実感することによって、地域社会づくりの担い手を育む教育を推進したい考え、持続可能な開発のための教育(ESD)のプロジェクトを立ち上げることにした。

地域や家庭、学校が連携・協力して取り組む学習活動を計画的に実践していくことで、将来にわたって自分の地域のよさに気づき、地域に誇りと愛着をもつ子どもが育つと考えている。

2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDで育みたい力を「環境保全」と「地域の歴史と文化」の観点から、地域の人とのつながりを深めて、持続可能な社会づくりの担い手を育てていきたい。自分たちの地域の環境や歴史・文化を調べることで、今日的課題を自分のものとして把握し、解決に向けて自ら動き出せる子どもの育成を目指したい。地域に誇りを持ち、持続可能な将来が実現できるような価値観と行動力をESDで培っていきたい。

そのために本校では、以下の4つの活動で次のような目標を掲げる。

(1) 「内張川」の環境保全活動

- ・ 内張川の生き物探検(2年)
- ・ 内張川の生態系の調査と環境保全活動(4年)

内張川に親しむ活動(生き物探検→飼育→絵画表現)を通して内張川のよさを実感するとともに、環境保全の大切さに気づき、地域に向かって環境美化と保全の意識を発信する。

(2) 地域の防災について意識を高め、地域に広める活動

- ・ 地域の防災活動と連携した教育活動
- ・ 地域の防災上危険な場所を調べ、他学年や保護者、地域に発信する活動
- ・ 親子で防災ずきん作りに取り組む活動

地域の大人と共に学びながら、自分たちにできる防災活動を考え、それを発信することで、地域の方と共に地域を守っていこうとする意識をもつ。

(3) 地域の歴史や自然・人にふれる活動

- ・ 地域のお年寄りから昔の遊びを教えてください活動と地域の保育園児に伝える活動（1年）
- ・ 地域の自然や産業、公共施設等を調べる校区探検活動（2年）
- ・ 地域の歴史や自然についてお年寄りに聞く活動（3年）

地域のお年寄りや、各施設の人との交流を通して、地域の歴史や暮らし、福祉についての現状を知り、より心豊かな社会へとつながる活動を創造しながら、地域の一員としての自覚をもつ。

(4) 行事などを関連づけた活動

運動会、学芸会、授業参観、学校公開日等で成果を発表する機会をもつとともに、保護者や地域が一体となって行う「いそべフェスタ」やおやじの会や老人会と連携した「避難体験訓練」、「昔遊びの会」、自治会主催の防災訓練などに積極的に参加することで、地域の誇りや地域への愛着心を育み、人との関わり、つながりを重視していく姿勢を養う。

3 Execution（プロジェクトの実施）

本校では、前述のとおり、ESDで育みたい力を「環境保全」と「地域の歴史・文化」の観点から学習を進めている。学習を深めていくことで、地域の人とのつながりが生まれ、持続可能な社会づくりの担い手を育むことができると考えている。

自分たちの地域の環境や歴史・文化を調べる学習と地域の自然や人と触れ合う学習を軸とすることで、地域に誇りをもち、持続可能な社会をつくる資質や能力の基礎的な部分を育てることであると考えている。

○各学年と地域との関わり

- ・ 1年生・・・磯辺保育園、長栄保育園との交流会、お年寄りから学ぶ昔遊びの会
- ・ 2年生・・・内張川の生き物探検、校区探検
- ・ 3年生・・・昔の話を聞く会
- ・ 4年生・・・内張川探検、調査活動、環境保全活動
- ・ 5年生・・・福祉体験、赤ちゃん体験、校区にある神社の写生
- ・ 6年生・・・地域防災活動、内張川周辺のスケッチ、写生

○「内張川」の環境保全活動

- ・ 4年生・・・内張川の530運動、環境調査（生態系、水質等）、氾濫の様子を聞き取る活動
ポスターによる保全の呼びかけと壁新聞づくり

○地域と取り組む防災活動

- ・ 6年生・・・セイフティ磯辺隊として防災マップ作り、情宣活動、防災頭巾作り、着衣水泳

○地域の歴史や文化にふれる活動

- ・ 1年生・・・保育園の園児との交流活動、老人会から学ぶ「昔遊びの会」
- ・ 3年生・・・磯辺の昔を聞く会
- ・ 5年生・・・地域の子ども発達センター「ホイップ」での赤ちゃん体験

(1) 活動を進めるための ESD アクティビティプログラム (4年生の例)

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社会	ごみの処理と利用		水はどこから								
理科	季節と生き物(春)		季節と生き物(夏)		季節と生き物(秋)			季節と生き物(冬) 自然の中の水			
総合		探検	調査	聞き取り調査	ポスターづくり	手紙発信					
行事		530運動					学芸会		感謝の会		

(2) 4年「内張川」の環境保全活動



内張川探検



内張川の水質検査

(3) 6年防災学習「セーフティ磯辺隊」



校区の防災訓練



水難事故に備えての着衣水泳

(4) 地域の歴史や人にふれる活動



磯辺の昔を聞く会



子育て支援センターにて「赤ちゃん体験」

4 Type of material to be used (使用する教材)

「小学校 キャリア教育の手引き」 文部科学省 2010

「かがやくとよはし」 豊橋市教育委員会 2012

「校区のあゆみ 磯辺」 豊橋校区史 2006

「キャリア教育ノート」 夢を見つけ夢をかなえる航海ノート 愛知県教育委員会 2012

「環境教育指導資料」 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 2007

5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する児童の理解と姿勢の評価)

児童の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・ 児童の様々な活動への取り組みの成果を学習記録や、レポート、小論文から把握する。
- ・ 学習や活動のまとめとして、学習発表会や通信などで地域や家庭に発信する意欲、態度を観察して評価する。

上記の評価とともに、さらに下記のことを実践して、ESD 活動のさらなる充実を図る。

- ・ 12月に、学校評価アンケートで、保護者、児童、教職員を対象に「地域の特性を取り入れた学習」「地域に愛着と誇りを感じる意識調査」などの項目について、学習への取り組みを調査する。
- ・ 2月に、児童の実態や地域の特色にそったカリキュラムになるように、次年度の学習活動の改善・方針を全教職員で検討する協議会を設ける。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESUCO Associated School Project and give the assurance that this institution will active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of ever year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコ ASP の参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそって ASP に貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年 ASP コーディネーター (※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会) に活動のレポートを提出します。)

Date(日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

校長, 豊橋市立磯辺小学校
Position, (役職) Principal
Institution 's name (学校名)
ISOBE elementary school